

産業廃棄物の現状 (令和5年度実績)

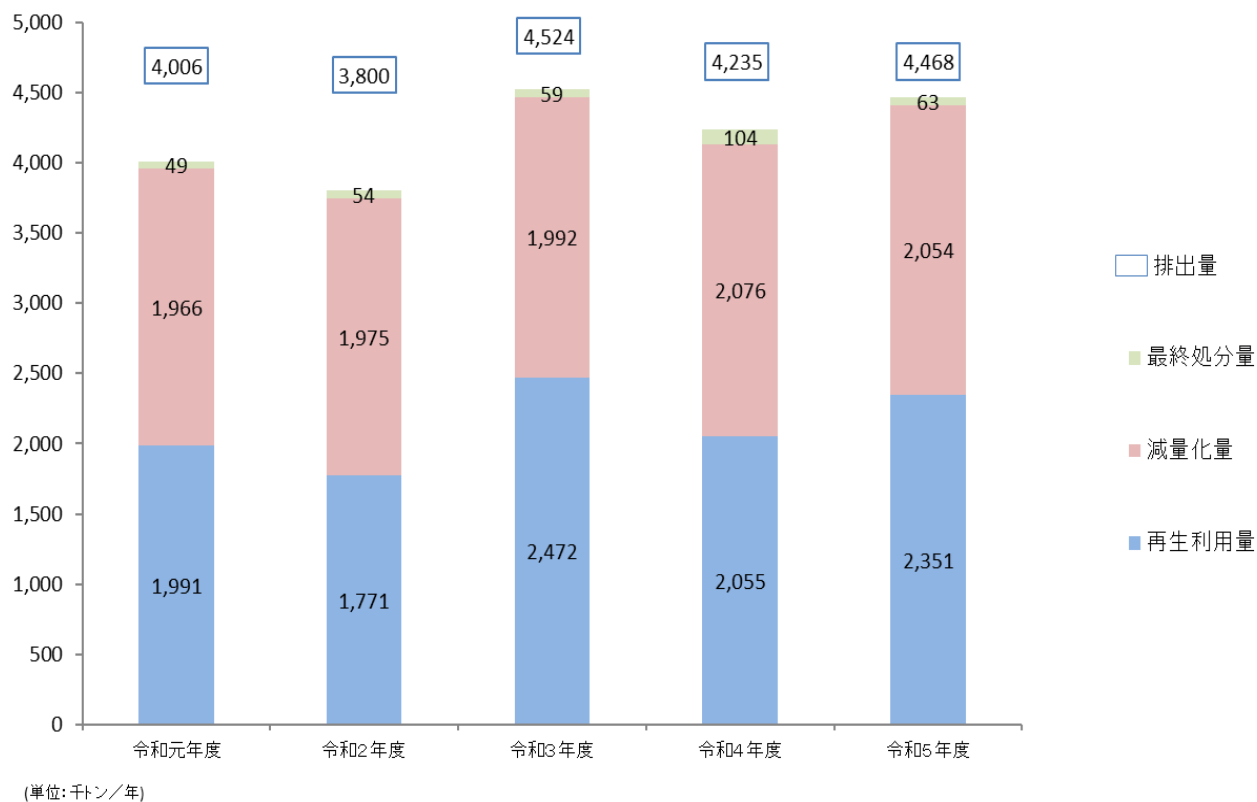
令和7年5月

千 葉 市

1 産業廃棄物の現状（令和5年度実績）

（1）産業廃棄物の排出量の経年変化

令和元年度から令和5年度までの千葉市内から発生した産業廃棄物の処分状況の経年変化は下図のとおりです。



注：四捨五入等の関係で合算が合わないことがあります。

図1：千葉市内から発生した産業廃棄物の処分状況

(2) 産業廃棄物の種類別排出量の経年変化

表 1 種類別排出量の内訳

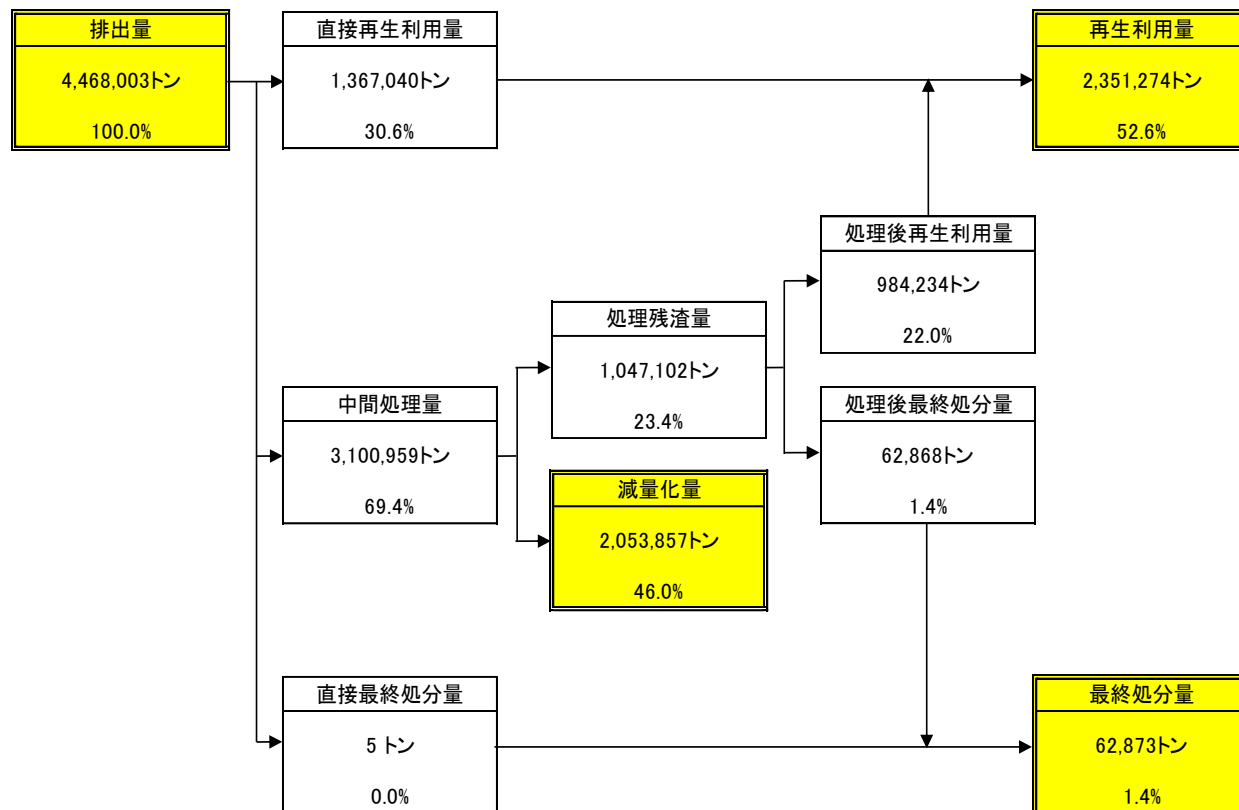
単位:トン/年

産業廃棄物の種類		産業廃棄物排出量				
		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
燃え殻		655	794	771	787	852
汚泥		1,635,179	1,619,038	1,667,810	2,182,845	2,281,040
廃油		74,914	78,358	75,533	94,492	66,467
廃酸		66,314	70,866	70,026	63,604	61,554
廃アルカリ		2,506	1,921	2,252	1,972	1,398
廃プラスチック類		39,549	42,375	41,075	43,628	49,438
紙くず		4,682	5,330	5,376	7,599	6,526
木くず		31,567	36,557	35,457	49,534	58,733
繊維くず		485	630	608	1,312	615
動植物性残さ		5,811	6,215	5,572	5,237	6,309
動物性固形不要物		該当値なし	該当値なし	該当値なし	該当値なし	該当値なし
ゴムくず		67	69	65	93	101
金属くず		192,461	187,476	532,637	384,537	588,143
ガラス・コンクリート・陶磁器くず		87,900	154,820	142,705	174,786	103,058
鉱さい		557,286	264,031	526,607	297,741	298,674
がれき類		435,230	469,840	480,039	526,435	491,102
建設系混合廃棄物		19,204	21,923	20,428	27,453	25,388
動物のふん尿		76,563	75,082	84,913	94,457	84,913
動物の死体		該当値なし	該当値なし	該当値なし	該当値なし	該当値なし
ばいじん		735,454	728,566	768,877	237,609	302,254
特別管理産業廃棄物	廃油	2,265	2,000	2,118	2,332	1,976
	廃酸	30,223	26,517	53,153	31,001	30,865
	廃アルカリ	415	472	577	500	579
	感染性産業廃棄物	4,995	5,102	5,368	4,468	4,870
	特定有害産業廃棄物	2,079	1,930	1,978	2,497	3,149
合 計		4,005,804	3,799,914	4,523,944	4,234,919	4,468,003

（３）産業廃棄物の排出及び処理・処分の状況

令和５年度における産業廃棄物の処理フローは下図のとおりです。

排出量 4,468,003 トンに対する処理・処分の内訳は、再生利用量 2,351,274 トン（排出量の 52.6%）、減量化量 2,053,857 トン（同 46.0%）、最終処分量 62,873 トン（同 1.4%）です。



注：端数処理のため、合算が合わない場合があります。

図２ 産業廃棄物の処理フロー

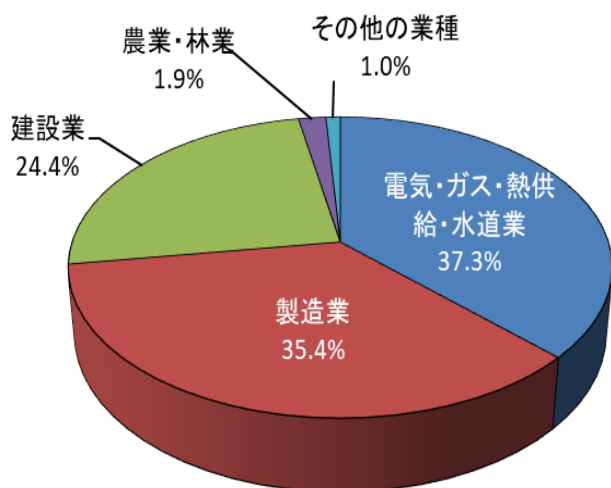
項 目	量（トン／年）	比率
産業廃棄物排出量	4,468,003	100.0%
再生利用量	2,351,274	52.6%
減量化量	2,053,857	46.0%
最終処分量	62,873	1.4%

(4) 産業廃棄物の業種別等の排出状況

ア 業種別排出量

業種別排出量では、電気・ガス・熱供給・水道業が 1,665,864 トンと最も多く全体の 37.3%です。

次いで製造業が 1,579,898 トン（35.4%）、建設業が 1,091,896 トン（24.4%）の順に多く、この 3 業種で全体の 97.1%を占めています。



業種	排出量	
	(t/年)	構成比
電気・ガス・熱供給・水道業	1,665,864	37.3%
製造業	1,579,898	35.4%
建設業	1,091,896	24.4%
農業・林業	85,334	1.9%
その他の業種	45,011	1.0%
合 計	4,468,003	100.0%

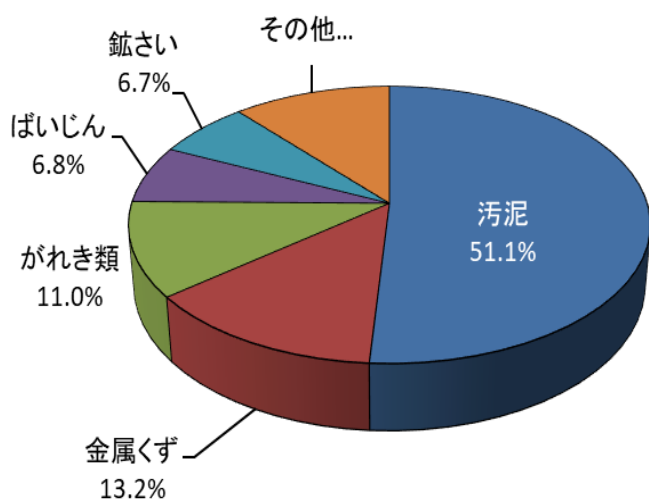
注：端数処理のため、合算が合わない場合があります。

図 3 業種別排出量

イ 種類別排出量

種類別排出量では、汚泥が最も多く 2,281,040 トンと排出量全体の 51.1%を占めています。

次いで、金属くずが 588,143 トン（13.2%）と多く、がれき類が 491,102 トン（11.0%）、ばいじんが 302,254 トン（6.8%）、鉱さいが 298,674 トン（6.7%）の順に多くなっています



廃棄物名	排出量	
	(t/年)	構成比
汚泥	2,281,040	51.1%
金属くず	588,143	13.2%
がれき類	491,102	11.0%
ばいじん	302,254	6.8%
鉱さい	298,674	6.7%
その他	506,791	11.3%
合 計	4,468,003	100.0%

注：端数処理のため、合算が合わない場合があります。

図 4 種類別排出量

(5) 多量排出事業者の排出状況

市内からの産業廃棄物排出量（4,468,003 トン）に対して、多量排出事業者の産業廃棄物排出量（3,412,854 トン）の排出割合は、76.4%となっています。

表2 多量排出事業者業種別排出量及び構成比比較

業種	総排出量		うち多量排出事業者		
	排出量 (トン／年)	構成比	排出量 (トン／年)	構成比	構成比 (対総排出量 (※))
電気・ガス・熱供給・水道業	1,665,864	37.3%	1,661,509	48.7%	37.2%
製造業	1,579,898	35.4%	1,432,804	42.0%	32.1%
建設業	1,091,896	24.4%	315,551	9.2%	7.1%
農業・林業	85,334	1.9%	0	0%	0%
その他の業種	45,011	1.0%	2,989	0.1%	0.1%
合計	4,468,003 (※)	100%	3,412,854	100%	76.4%

注：端数処理のため、合算が合わない場合があります。